

昭和 46 年 6 月 17 日 第 3 種郵便物認可 (毎月 6 回 0 の日・5 の日発行)

令和 5 年 10 月 10 日発行 SSK 通巻第 5969 号

SSK  
膠原

かきつばた

大分県支部 2023 年 No. 57



幸せは必ずやってくる





# も く じ



❁はじめに	多田めぐみ	-----	2
❁令和5年度総会報告		-----	3
❁医療講演会		-----	4～12
織部リウマチ科内科クリニック 織部元廣先生			
テーマ「膠原病と楽しく付き合う秘訣」(膠原病の生涯治療)			
❁総会に参加して		-----	13～14
❁皆様から頂いた近況報告		-----	15～17
❁顧問の先生方		-----	18
❁令和5年度役員名簿		-----	19
❁おしらせ		-----	20
・寄付のお礼・年会費納入・賛助会員さん募集・変更時の連絡			



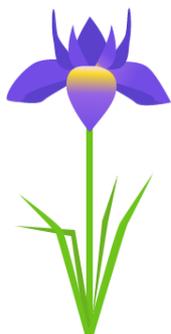
## はじめに

今年の夏も暑く長く感じました。皆様体調お変わりなくお過ごしでしょうか？新型コロナウイルスも5類に変更になって、久しぶりに賑やかな夏でした！祭りや帰省、楽しめましたか？しかし、新型コロナウイルスは、まだ、私達の傍にいます。私もとうとうかかってしまいました。大事には至りませんでしたが見ついです。皆様も5類だ！緩和だ！と気が緩みがちになりそうな所ですが、感染対策を忘れずに気をつけていきましょう。

去る6月18日に無事に令和5年度大分県支部総会が開催されました。今回は総会の報告をお届けいたします。

又、年末の国会請願署名用紙を同封しています。自分のできる範囲で構いませんので沢山のご協力をお願いします。

支部長 多田 めぐみ



# 令和5年度 総会報告

日 時	6月18日(日) 12:00 受付 12:30 開始
場 所	大分県医師会館 6階研修室
付議事項	令和4年度活動報告・決算、令和5年度活動計画・予算、役員選任
参加者	会員19名(+付き添いの方、ご家族数名あり) 保健所・支援センター・難病連より11名 顧問の先生 3名
医療講演	織部リウマチ科内科クリニック 織部元廣先生 『膠原病と楽しく付き合う秘訣』

開始前からあちこちで会話が弾み、久しぶりの再会を喜び合っていました。

1部の総会は滞りなく進み、令和4年度活動報告・決算、令和5年度活動計画・予算、役員選任の各議案が原案通り承認されました。

司会の佐保さんの素晴らしいアナウンス力で、本当に助けられました！有難うございました。

2部の医療講演会は、織部元廣先生の講演でした。とても有意義な講演でした。後半はアコースティックギターを弾きながら、自作の歌を3曲披露してくれました。とても心が和むひと時でした。

その後休憩を挟み、3部は、2グループに分かれて医療相談会が行われました。大分医大の尾崎貴士先生と、別府医療センターの末永先生が参加して下さり、私たちの質問や話に、丁寧に答えて下さいました。

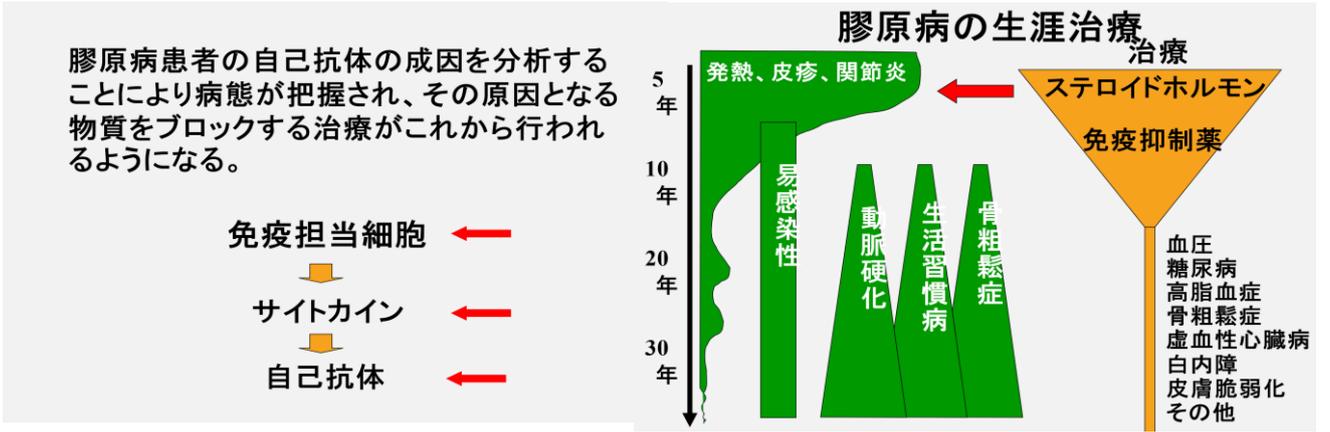
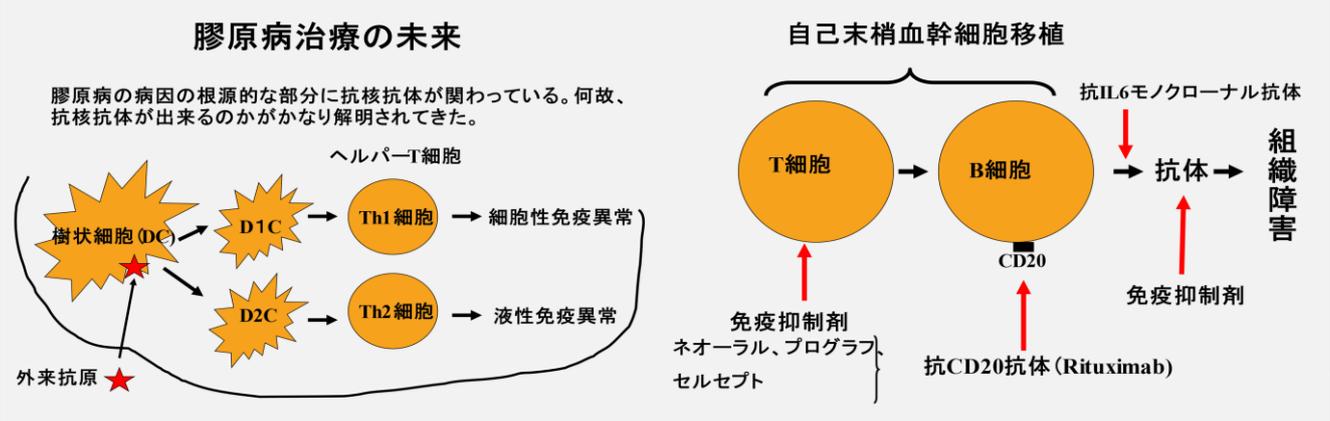
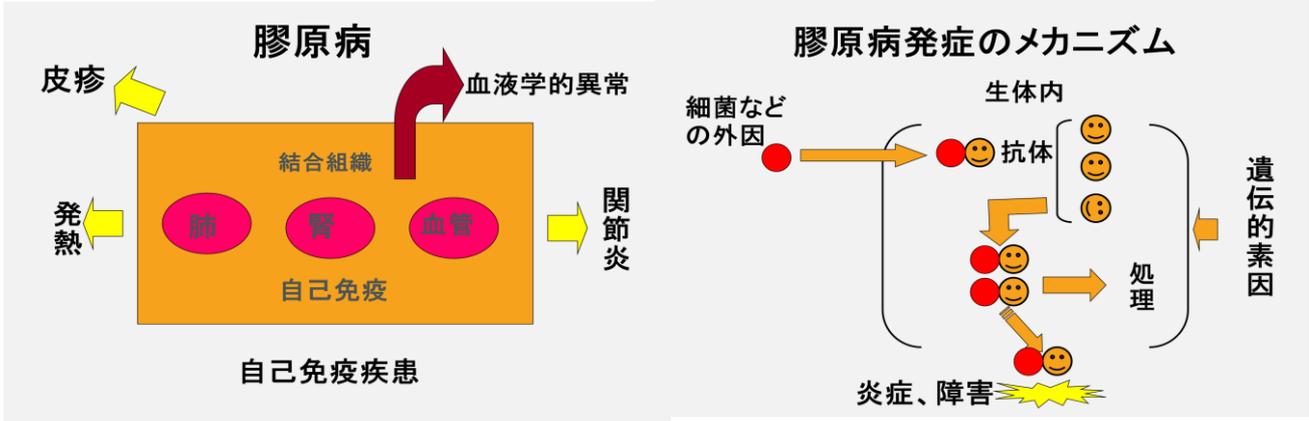
参加者も日頃言えない病気の話、通院の悩みをお互いに共有出来てとてもいい時間を過ごせたと思います。

時間が来ても、話が盛り上がり締めのアナウンスに躊躇しながら、最後は皆さんでお忙しい中参加して下さった先生方にお礼を言って、総会を終了しました。

参加して下さった皆様、お疲れさまでした。久しぶりの会で、ぎこちないところもあったかと思いますが、(汗)皆様のご協力のお蔭で楽しい会になりました。有難うございました。

# 膠原病の生涯治療

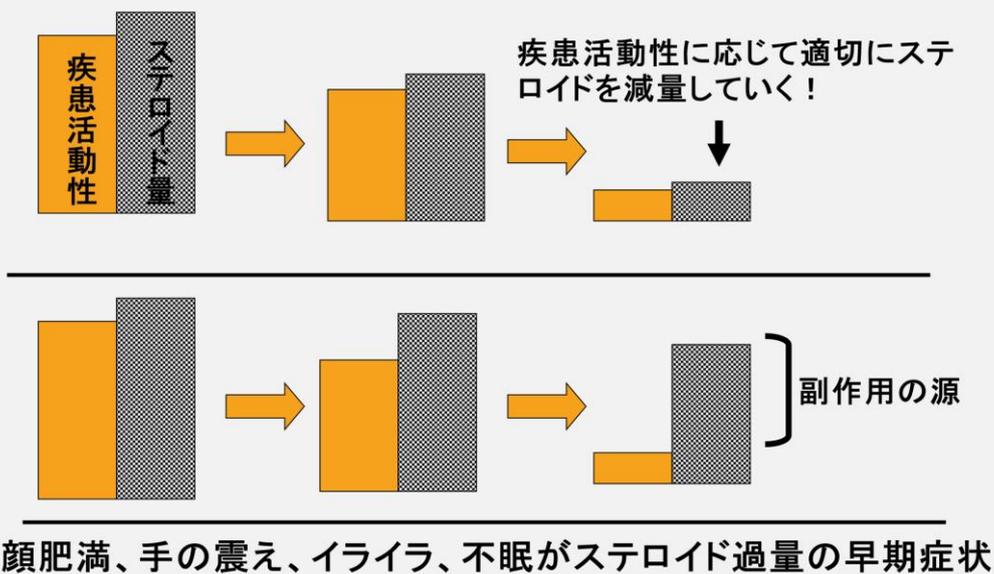
織部リウマチ科内科クリニック  
織部元廣



# 1) ステロイドに関する諸問題

## A 過剰投与の恐れ

### 膠原病におけるステロイド治療の基本的要領と考え方



### ステロイドが不必要に過剰に投与されていた症例

**44歳女性；T.M.:** リウマチ性多発筋痛症との診断でPSL 20mgを2年以上服用中、全身が痛くて動けないとの主訴で当科初診。炎症反応なく主訴は皮膚の神経性疼痛で、当初は皮膚を軽く触れるのみで激痛を訴えていた。ステロイドによる皮膚の神経過敏が原因と考え、1年でPSL 5mgまで減量。現在、皮膚の痛みも取れ、元気に通院している。

# B 短期的、長期的副作用

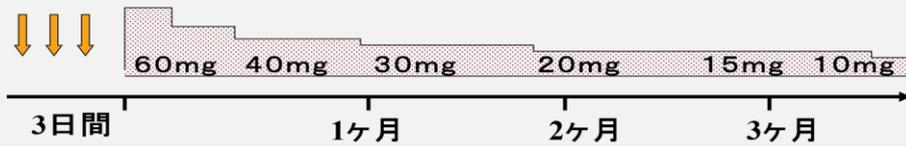
## ステロイドパルス療法とは

ステロイドパルス療法とは初期の日に大量のステロイドを投与し、その後4日目よりプレドニン40～80mgよりゆっくり漸減する方法です。この方法が行われるようになって、膠原病患者さんの予後が著しく改善されました。

初期のステロイドの量による呼称

パルス 1000mgを日間  
 セミパルス 500mgを日間  
 ミニパルス 125mgを日間

→ プレドニン40～80mgよりゆっくり漸減していく。



## ステロイド剤の副作用

直後	初期	漸減中	維持療法中
不眠 精神不隠 食欲亢進 体重増加 血糖増加	高血圧 糖尿病 痤瘡 消化潰瘍 精神的弱点の悪化 不眠、イライラ	肥満 副腎機能不全 易感染性 大腿骨頭壊死 ステロイド筋症 創傷治癒の遅延 手の震え 鬱状態	骨粗鬆症 皮膚萎縮 出血斑 白内障 動脈硬化 成長阻害 脂肪肝 肥満

予測不可能な症状 パルス3週後;IgG、末梢血リンパ球数に注意  
 精神病  
 頭蓋内圧亢進  
 緑内障

スタッフ用

ステロイドホルモン投与パス

スーパーパルス 1000mg×3日  
 パルス 1000mg×3日  
 セミパルス 500mg×3日間  
 ミニパルス 125mg×3日間



プレドニン漸減

ステロイドケア	パルス中	パルス直後 (2～3週)	(1ヶ月～) 早期	(3ヶ月～) 中期	(1年～) 長期	
(前ケア) ズギンケア( ) 胃潰瘍 ( ) 骨粗鬆症 ( ) 精神状態 ( ) 易感染性 ( ) 結核の既往 ( )	精神状態、 不眠、 血圧、 血糖、 電解質異常、 肺炎、	血糖、 眼圧の上昇、 急性骨粗鬆症、 高血圧	白血球 リンパ球 IgG 胸写 カリニ サイトメガロ βDグルカン LDH	精神的高揚、 手の震え、 不眠、 肥満、 易感染性、 真菌症 尋常性痤瘡	骨粗鬆症、 糖尿病、 白内障、 満月様顔貌 動脈硬化	
対策	睡眠薬、 血圧、血糖の 定期的管理、 胸写	眼科受診、 骨XP	バクタ投与	安定剤、 βブロッカー、 食事指導、 感染症の管理	ビスフォス製剤、 血糖管理、 眼科受診、 食事指導	ビスフォス製剤、 運動療法、 眼科受診、 動脈硬化管理

# C 骨粗鬆症

## 骨粗鬆症の分類

原発性骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症 老人性骨粗鬆症 特発性骨粗鬆症
続発性骨粗鬆症	内分泌性 栄養性 薬物性 不動性 先天性 その他 リウマチ、糖尿病、肝疾患

## 骨代謝マーカーから見た骨粗鬆症病態

### オステオカルシン(OC)

骨芽細胞で産生される非コラーゲン性蛋白質で、カルシウム親和性を有して、石灰化に關与する骨形成マーカーである。血清オステオカルシン値はステロイドの投与量に依存して低下しステロイド中止後に回復する

### 血清骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)

骨芽細胞膜に存在する骨に特異的な酵素で、骨形成に伴い血中に放出され、骨形成のマーカーとして、利用されている

### I型コラーゲン架橋N末端テロペプチド(NTx)

破骨細胞による骨吸収過程で代謝された特異的な断片で、骨吸収マーカーとして用いられる。血清、尿中NTxはステロイド骨粗鬆症で上昇する。

### デオキシピジノリン(DPd)

破骨細胞による骨吸収過程でやはり、血中に放出され、尿中に排出されるため、尿中の濃度を測定することにより、骨吸収マーカーとして、利用される。

## 骨粗鬆症

骨太で骨に自信があったという51歳女性；S.M.

多発性筋炎及び肺線維症の診断でPSL 60mgより投与され1年後なお20mg連日服用中。その間、骨粗鬆症予防の薬剤は服用していなかった。背部痛、腰痛を訴え、当科へ転院希望。当科入院時、胸腰椎あわせて11ヶ所に圧迫骨折並びに高度の骨粗鬆症を認めた。



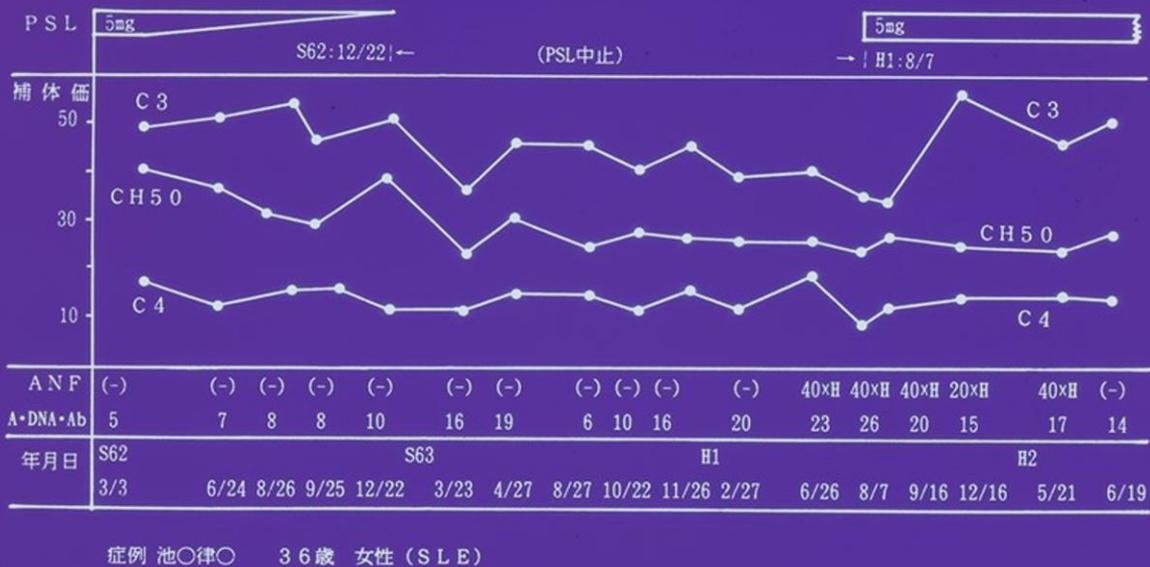
SM 51歳 女性 皮膚筋炎症例

胸椎XPIにてほとんどの胸椎が圧迫骨折で扁平化していることがわかる。

本例のステロイドは肺線維症には有効でなく、20mgの投与は必要ないと判断し、1年がかりで、プレドニン5mgまで減量した。途中でネオオーラル50mgを追加し、現在まで、元気に通院している。

## Dステロイド離脱の問題

### SLEが寛解したと考えステロイド中止後ヶ月して再燃してきた例



## Eステロイドを知る

### 薬剤として使用されている主なステロイドホルモン

一般名	商品名	力価	半減期	生物学的効果
コルチゾール	コートン	25	1.5	8
ヒドロコルチゾール	コートリル	20	1.5	8
プレドニン	プレドニン	5	4	18
プレドニゾン	プレドニゾン	5	4	18
メチルプレドニゾン	メドロール	4	4	18
トリアムシノロン	ケナコルト	4	4	18
デキサメサゾン	デカドロン	0.75	5	36
パラメサゾン	パラメゾン	2	5	36
ベータメサゾン	リンデロン	0.5	5	36

## 2) 膠原病患者フォローの要点

### 肺炎が、ステロイドを投与されている 膠原病患者の寿命に最も影響する

#### 膠原病疾患別：何が寿命を縮めるのか

- 全身性エリテマトーデス**:肺炎、腎障害、薬剤  
**強皮症**:腎障害、肺線維症、肺炎、肺高血圧症  
**混合性結合織病**:腎障害、肺高血圧症、肺炎  
**皮膚筋炎**:間質性肺炎、肺炎、腫瘍の合併  
**シェーグレン症候群**:腎炎、間質性肺炎  
**ベーチェット病**:血管病変  
**多発性動脈炎**:腎障害、脳梗塞、心臓障害、肺炎

関節リウマチで生物学的製剤を投与されている方、膠原病でステロイドを服用している方は以下の症状を感じたときは、いつでもご連絡ください。

以下の症状を感じた時は、いついかなるときでも結構ですからすぐ主治医に連絡して下さい

- 1) 息苦しい
- 2) 手足が痺れる
- 3) 顔、手足が腫れる
- 4) 高熱が3日以上続く
- 5) 指先が黒くなる

以下の症状が現れた時は、数日以内に病院へお越し下さい

- 1) 四肢の傷の重症化
- 2) 眼球の異常充血
- 3) 血尿
- 4) 性格の変調
- 5) 風邪が長引く
- 6) 体重の異常増加
- 7) 血圧の異常高値

予定通りの通院で良い場合

その他、日頃と異なった、あるいは気付いた点がありましたら、その内容をメモし、次回の診察日に主治医に知らせてください。

連各先 097-513-7123  
織部リウマチ科内科クリニック

### 清潔習慣の勧め

—ステロイドを投与されている患者さんへ—

- 1) 不潔な手で決して、自分の目、耳、鼻に触れないこと。目をこすったり、耳に触ったりするときは必ず手を洗ってから行うこと
- 2) 帰宅したらまず手洗いとうがいをを行う。ばい菌を洗い流すことが大事
- 3) お金、お札はばい菌の固まりである。触れた手は同じ程度に汚染されていることを知れ
- 4) 入浴の際、顔を洗い、皮膚を洗い、眼、耳、鼻をすすぐ。洗い流すことが大切である。
- 5) 手や皮膚の傷は、入浴後に毎日点検し、少しでも傷を見つけたら、こまめにイソジンで消毒する。
- 6) 爪はばい菌が入りやすい。爪切りが爪を痛める最大要因である。丁寧に爪切りを行い、深爪をしないよう細心の注意を払う。
- 7) 水虫を爪で搔くと、爪水虫の原因となる。その爪から全身へ水虫が広がるのである。決して皮膚のかゆい部分を自分の爪で搔かない。
- 8) 人混みはウイルスやばい菌のあふれた場所である。ばい菌はマスクで防げるがウイルスはマスクでは防げないことを知れ。人混みから帰ったらすぐ顔を洗い、うがいをし洋服の外に出た部分から汚染物質を洗い流す。ウイルス汚染対策は予防接種が一番である。

織部リウマチ科内科クリニック 院長 織部元廣

### 家族内感染防止の勧め

- 1) 関節リウマチで生物学的製剤を投与中の患者や膠原病でステロイドを服用中の感染抵抗減弱の恐れのある患者さんは自らが清潔習慣を実施し、不用意にインフルエンザに罹っている人や高熱のある子供、咳のひどい友人などに近づかないこと。
- 2) 何らかの伝染性疾患に罹患している人と接触した場合、すぐうがいと手洗いを行うこと
- 3) 家庭内の同居人(夫、妻、子供、親など)にも、清潔習慣を守らせること
- 4) 固形石鹸は、ばい菌を伝播し不潔になりやすいので良く洗浄後使用
- 5) トイレや風呂場でタオルを共有していると、ばい菌をもらいやすいので、必ず、各自で自分だけのタオルを使用すること
- 6) インフルエンザや各種伝染性疾患の予防接種はなるべく家族にも行うこと
- 7) 風邪を引いた家族、同居人にどうしても接触する場合は規定のマスクを着用すること
- 8) 外出から帰ったときにまず行うことは手洗いとうがいである。これを家族にも必ず励行させること
- 9) 家族の不潔な習慣(同室での喫煙、不潔な物を触れた手であなたに触れる行為、入浴の際の陰部や臀部を洗った手を消毒しない行為)を是正する。

織部リウマチ科内科クリニック

織部元廣

### 3) 膠原病再燃の指標

症例：高○幸○、19歳、女性

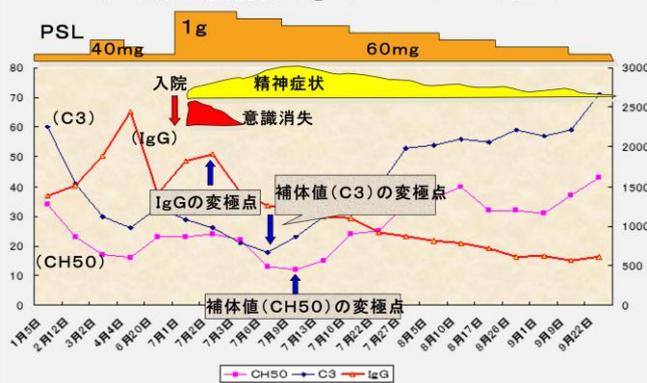
家族歴、既往歴：特記すべきことなし

現病歴：平成9年5月誘因なく胸部痛、39℃台の発熱出現。某医にてSLEに伴う胸膜炎の診断でPSL60mgの投与を受けた。同年6月27日、某大学病院へ転院。7月より精神症状、血小板減少、敗血症など併発しステロイドパルス療法、血漿交換療法など受けるも軽快せず、家族の希望にて11月6日当科へ転院してきた。ステロイドの減量、ホーレ、中心静脈カテーテルの抜去、抗生剤にて諸症状の改善をみ、SLE活動性は寛解状態となり、12月26日退院。  
平成10年4月23日、高熱にてSLE再燃。再入院しPSL40mgより治療し軽快。心外膜炎による軽度の胸痛は残っていたが血液学的活動性はコントロールされ、6月16日、退院。7月1日、息苦しさで38℃の発熱にて3回目の入院となった。

#### 入院時現症

意識状態 清明、顔面にアクネの化膿を思わせるような蝶形紅斑。  
体温 38.2℃ 血圧 140/85 mmHg、四肢は軽度浮腫、舌は白苔  
口内炎なし、脱毛認めず、四肢伸側の紅斑も認めず、心音、呼吸音は正常  
腹部はやや膨満、精神神経学的には著変を認めず

第3回目入院前後のIgG、CH50、C3の経過



#### 入院後突然の意識消失までの経過

38℃の発熱、異様な顔面から前胸部に及ぶ紅斑を認め、7菌による  
化膿性皮膚疾患を警戒し、翌日皮膚科受診予定で、セ77がシ2gx2/日、  
イソジ消毒とした。翌午前8時、個室室内ベットサイドで倒れ、ウーンウーン  
どうなっているところをナースに発見された。

#### SLEの悪化と考え、免疫抑制剤の追加、実は？

症例：27才 女性 河○久○

主訴：顔面紅斑、脱毛

現病歴：平成7年夏頃より顔面、前腕など日光に露出しているところに皮疹出現。皮膚科で膠原病の診断を受けるも放置。次第に悪化するため、平成9年4月21日、当科初診。

初診時現症：典型的な蝶形紅斑、口腔内びらん、脱毛、前腕、前胸部に及ぶ湿疹様皮疹を認める。

#### まとめ

血液学的にはほぼコントロールされているかに見えた19歳SLE例において、突然顔面紅斑、中枢神経症状を来し、大量のステロイド療法に踏み切った症例を報告した。

抗DNA抗体は一過性に増加していたが、一旦正常化した後、急速なSLE症状の悪化をみた。その後抗DNA抗体は精神症状の続いている間、正常値を維持していた。

補体は低下に続いてSLEの悪化を来し、将来の悪化を予知できる可能性もあるが、C4は常時低値のままであった。一方C3とCH50は平行して病勢を反映し、治療方針の決定に参考になると思われた。

低下し続けた補体が増加に転じたのはステロイド大量投与9日目からであり、その時点でのSLE病勢の判断は難しく、他のデータと総合的に評価する必要があると思われた。特にIgG値は補体の低下と逆相関して増加し経時的に補体と共に測定することで、SLEの病勢判断の重要な指標になりうると考えられた。

## 4) 膠原病診療における過剰医療の罠

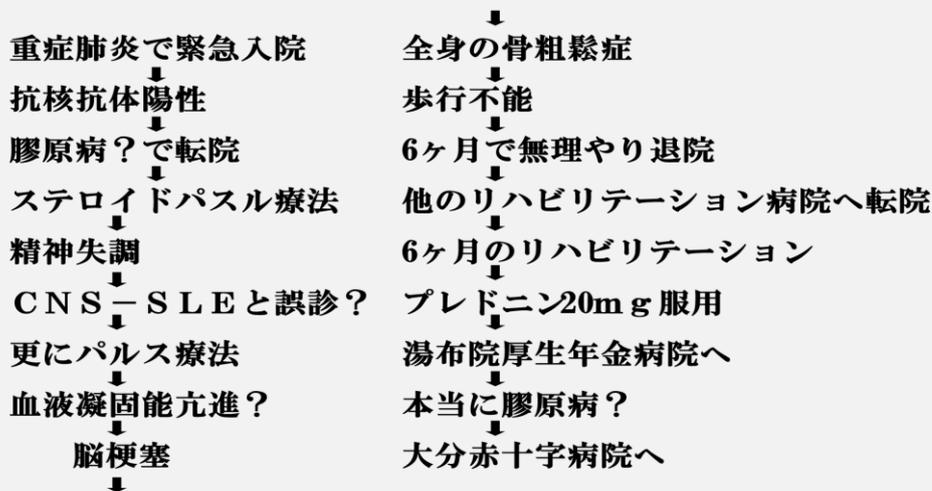
### 不明熱が続き膠原病との鑑別を要した 気管支結核の24歳、女性例

主訴：発熱

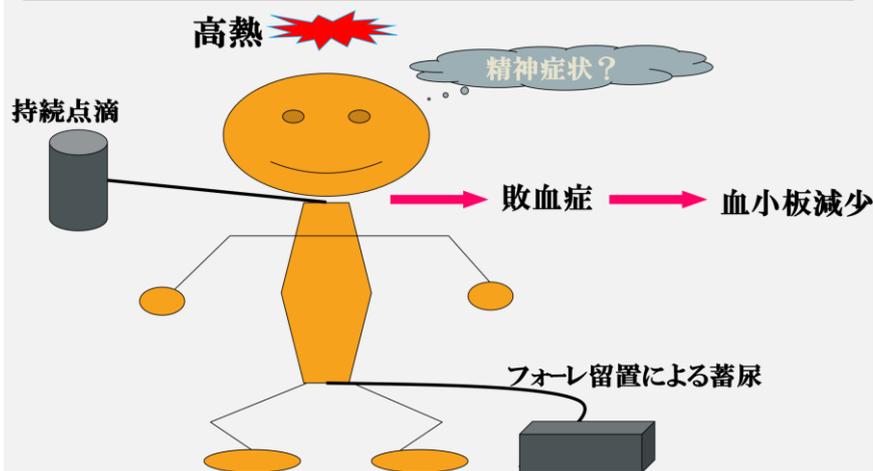
家族的、既往歴：特記すべきことなし

現病歴：平成11年6月25日より38℃の高熱、乾性咳出現。近医受診し抗核抗体陽性、通常の抗生剤無効のため膠原病を疑われ当科へ7月7日紹介入院。血沈 65mm/hr、CRP 13.0、白血球 10400/mm<sup>3</sup> ツ反 20x30mm、抗核抗体 40xHomo より膠原病も疑われたがまず肺炎を否定するためミノマイシン200mg/日を投与。一旦解熱したため7月17日退院。退院時血沈 62mm/hrであった。しかしその後時々発熱あるため7月27日再入院。ミノマイシンを日間ほど投与した後ストレプトマイシン連日筋注と共にRFP、INHの3者併用療法を開始。翌日より解熱し倦怠感なども消失。血沈も正常化していった。

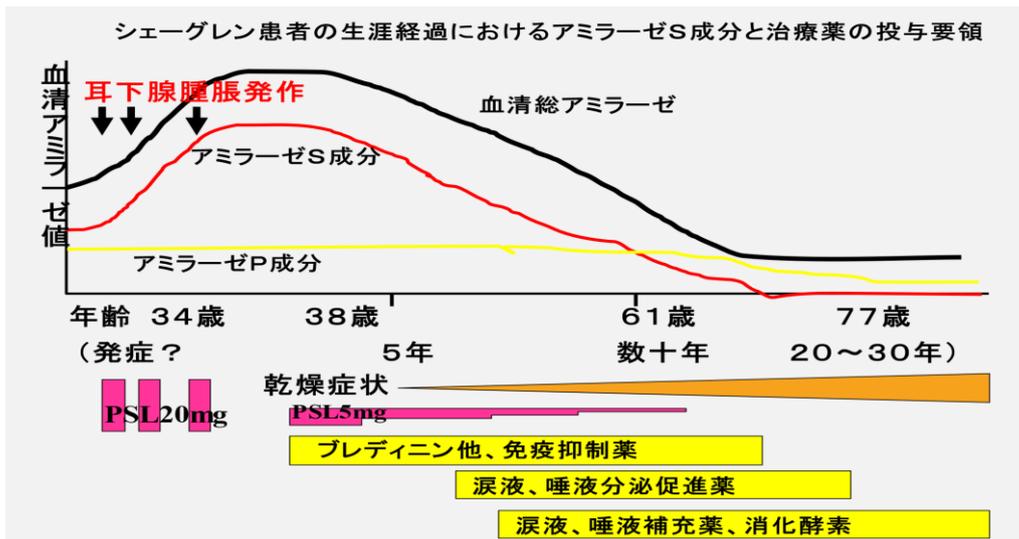
### 膠原病と誤診され幾度となくパルス療法を受け28歳看護師



高熱と高度の血小板減少で、助からない言われ、どうせだめならと家族の強い希望で、当院へ転院してきた9歳、女性SLE症例



## 5) 当科における膠原病の新知見



## 6) 悪性疾患と膠原病

症例①K. T. 74歳 女性

主訴：両手関節部皮膚紅斑  
家族歴、既往歴：特記すべきことなし

現病歴：平成6年1月、両手指、足趾PIP伸側に多発関節痛と共に薄紫色の紅斑出現。近医で膠原病の診断で治療受けるも軽快せず冷えると指先が蒼白になるとのことで平成7年1月31日当科初診。視診の印象で皮膚筋炎と診断。



### 膠原病と悪性疾患

①悪性疾患を併発しやすい膠原病

- 1 ; 皮膚筋炎、多発性筋炎
- 2 ; 強皮症
- 3 ; シェーグレン症候群
- 4 ; その他

②薬剤性

- 1 ; エンドキサン
- 2 ; メソトレキセート
- 3 ; イムラン
- 4 ; ステロイドホルモン?

膠原病患者で最も注意すべき悪性疾患は肺がんである。

経験頻度別

- 1) 肺癌
- 2) 胃癌、大腸癌、胆嚢癌
- 3) 乳癌
- 4) 悪性リンパ腫
- 5) その他

## 総会に参加して

令和5年6月18日（日）膠原病友の会大分県支部総会・医療講演会・医療相談会が開催され、昨年は中止でしたが、準備その他で大変でしたでしょうが、多田支部長はじめ、役員の方々も今回無事に済んでホッとなさっていらっしゃる事と思います。

織部元廣先生の医療講演会もモニターを見ながらとても分かりやすいお話をして下さいました。また、ギターを弾きながらの歌も3曲披露して下さい、楽しいひと時でした。

医療相談会も十数名のA・Bグループに分かれて、私は大分医大の尾崎先生が入って下さり、初めて会った人達とも情報交換が出来、みなさんそれぞれの質問であっという間に時間が過ぎて楽しいひと時でした。最後皆さんで先生方にお礼を申し上げたのがよかったです。

これから暑さも増してきます。くれぐれもお体ご自愛くださいませ。

（日出町 O・Sさん）

※総会終了后感想のお手紙を送って下さいました。ありがとうございました。



## 総会に参加して

3年ぶりに友の会総会が開かれました。私にとっては初めての参加になります。友の会に入会してコロナ禍に入り、総会が実施できずだったので、とても楽しみにしていました。

開始時間は午後からでしたが、皆さんも早くから会場に来られて、久しぶりに会った方々と楽しそうに話をしているのを見て、同じ気持ちだったのだなと思いました。

織部先生の医療講演会『膠原病と楽しく付き合う秘訣』のお話の後、楽しい歌のサービスまであって、心温まる講演会でした。先生の話の中で、SLEの患者さんは、赤くなるほどに日焼けしなければ紫外線対策の心配しなくても良いですよと聞いて、「え？ほんとに？そうだったら凄くうれしいな」と思いました。外出の時は、帽子・マスク・アームカバー・ストール・ちょっと庭に出る時も、こうもり傘をもって・・・なんて生活している身には、夢のようなお話でした。

休憩の後に、二班に分かれて医療相談会がありました。私の班は尾崎先生がお話を聞いて下さりました。とても真摯に会員の方の質問に丁寧に答えてくださいました。皆さん辛い痛みと向き合いながらの闘病生活、朝早くからの通院などの悩みを話されていました。

ある方が、診察を受けている病院への不安を話されていました。私も小さな個人病院で診察を受けているので、同じような不安はあります。医療相談会でほかの先生の話の聞けるチャンスは本当に貴重だと思いました。

来年はまた違う先生にお会いできると思うので、又参加したいと思いました。

準備してくださいました役員の皆様、お疲れさまでした。ありがとうございました。

( 日出町 S・Tさん 全身性エリテマトーデス )



皆様から頂いた近状報告より

★役員さん方には大変お世話になりましたありがとうございます。

私は最近原因不明の微熱がつづいて検査中で大変不安です。

【大分市 Y・Sさん 皮膚筋炎／多発性筋炎】

★4年ぶりの開催になりますね、本当に長い間待ちに待った総会です。

楽しみにしています。

【宇佐市 E・Hさん 全身性エリテマトーデス】

★体調を整えて出席させていただきます。宜しくお願い致します。

【日出町 O・Sさん 顕微鏡的多発血管炎】

★いつもお世話になり有難うございます。この病名が分かってから29年目になります。色々ありましたが、今では太極拳やフラダンスを習い頑張っています。

5/14には大分市で懇親会&フラパーティーを楽しんで来ました。

人生前向きに行きましょう！

【姫島村 K・Tさん 高安動脈炎】

★友の会への入会者が増えるといいですね。（発症間もない方）入会して頂くにはどうしたらいいでしょうか？

【由布市 S・Kさん 】

★8年ぶりに左目の白内障の手術で2泊3日の医大入院でした。同室のおばあちゃんは90歳で緑内障でしたが、とってもしっかり者。私はその年までどんな日々を重ねてどんなおばあちゃんになっているかしら？時に嘆き、時にめげてもニッコリ笑顔を重ねる人でありたいな・・・と思いました。

【三重町 S・Hさん 皮膚筋炎／関節リウマチ】

★いつもお世話になります。「かきつばた」ご編集ご苦労様です。いつも楽しみに拝見させて頂いてます。私、高齢の為、何のお手伝いもできませんが、感謝と応援していることとお許してください。皆様どうぞご自愛ください。

【大分市 S・Mさん 全身性強皮症】

★いつもお世話になります。今月号膠原No.209を読むと症状が私によく似てるので、とても心が暗くなりましたが、総会で皆さんに会えるのを楽しみにしています。

【別府市 N・Nさん 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症】

★いつもかきつばた楽しみに読んでます。3年ぶりにステロイド減量し体調がなんとなくすぐれません。気候の変化の影響もあるのでしょうか？皆様のご健康お祈りいたします。

【佐伯市 T・M 皮膚筋炎】

★役員の皆様には大変お世話になっております。有難うございます。私は昨年転んで足を骨折して6ヶ月入院していました。辛かったです。今はようやく杖で歩いています。毎日辛い日々を過ごしています。

【緒方町 k・kさん 突発性胆汁性肝炎】

★歩行困難でシルバーカーを使用しています。危険大で欠席させていただきます。役員の方大変でしょうがよろしくお祈りいたします。

【佐伯市 I・Tさん 全身性エリテマトーデス】

★毎度農繁期の時期で総会は欠席となります。皆様にはお身体ご自愛下さいますように！

【大分市 F・Sさん 混合性結合組織病】

★今年は新年早々、私がコロナになり娘もかかってしまい、本当に心配でしたが、思ったより軽く終わり安心しました。娘は毎日元気に子育て頑張っていて、体調管理も大変そうなので、出来ることは応援したいと考えてます。

【大分市 U・Eさん 娘様全身性エリテマトーデス】

★色々とお世話になります。今少し看病で思うように出来なくてすみません。

【大分市 M・Kさん ベーチェット病】

★今のところ体調も落ち着き、家族6人の家事をしています。

【中津市 N・Kさん 多発性筋炎】

★いつもお世話になります。有難うございます。2回目の肺がんが見つかり、手術をしないといけなくなりました。次から次と何かの病気が出てきて・・・

【大分市 M・Tさん 全身性エリテマトーデス】

★役員の皆様かきつばたいつも楽しみにしています。大変お世話になっております。今年は総会出席したいと思っておりましたが、娘が在宅日で、本人同伴ですと質問が出来ず、残念です。娘も今のところ元気に通所しています。皆様に宜しくお伝えください。

【佐伯市 H・Hさん 顕微鏡的多発血管炎】

★私も5か月前にもらった猫の「チビ」ちゃんの世話を楽しんでいます。今後共よろしくをお願いします。

【国東市 F・Sさん 全身性エリテマトーデス】

★4年ぶりに総会・医療講演会・相談会が開催できることをうれしく思い、皆さんに会えるのを楽しみにしていました。しかし、車椅子の生活に加え、1年程前から肩・首・頭が痛く、人に会うのが苦痛になってきました。

最近痛み止めを飲みながら少しだけ痛みが軽くなってきましたが、遠出や長い時間の外出は出来そうにありません。多くの方々の出席のもと、有意義な会になるようお祈りしています。

【佐伯市 T・Mさん 全身性エリテマトーデス】

★最近はずっと1年1年過ごしていたが、今年は色々な事がある。

足の痛み、強い倦怠感、家族全員コロナにかかり、なんだかなー。

今年はこんな年なんだな・・・と嵐が通り過ぎるのをじっとこらえている日々。

そして、子供2人成人しました。私が発病したときは、幼稚園だったなあ。

あれから今まで、家族を引っ張ってがむしゃらに進んできた。

これからは後ろから見守って、ゆっくり進みたいと思います。

【大分市 M・Tさん 全身性エリテマトーデス】



## 顧問の先生方

先生	病院名	住所	T E L
堀田 正一	堀田医院	〒872-1401 国東市国見町 大字伊美	0978-82-0490
織部 元廣	織部リウマチ科内科 クリニック	〒870-0823 大分市東大道 1丁目8番15	097-513-7123
石井 宏治	大分赤十字病院 リウマチ科	〒870-0033 大分市千代町 3丁目2-37	097-532-6181
末永 康夫	独立行政法人 国立病院機構 別府医療センター リウマチ科	〒874-0011 別府市内竈1473	0977-67-1111
柴富 和貴	大分県立病院 腎臓・膠原病内科	〒870-0855 大分市豊饒 476番地	097-546-7223
前島 圭佑	医療法人慈恵会 西田病院 リウマチ・膠原病内科	〒876-0047 佐伯市鶴岡西町 2-266	0972-22-0180
浜崎 一	はまさきクリニック リウマチ科 内科・婦人科	〒870-0823 大分市東大道 2丁目3-16	097-546-1230
尾崎 貴士	大分大学医学部 附属病院 膠原病内科	〒879-5503 由布市挾間町 医大ヶ丘1-1	097-549-4411



## かきつばた役員

令和5年度

役員名	氏名	備考
支部長	多田めぐみ	
事務局		
会計	猿渡史子	新任
会計監査	田北昌子	
運営委員	渡邊公美	
運営委員	青木奈央美	新任

**\*会のお手伝いをして下さる方を募集しています。**

総会の準備、かきつばたの編集・発送などできる時にできる範囲でいいです。みんなと世間話や趣味の話などおしゃべりしながら楽しくやっています。



## 寄付のお礼

大塚内科リウマチ科クリニックの大塚英治先生と、井野辺病院膠原病内科の熊本美登里先生から、大分県支部へ寄付を頂きました。  
友の会運営費として大切に使用させていただきます。有難うございました。

## 会費納入のお願い

会の運営は皆様の会費で成り立っています。今年度分の納入期間は令和5年度4月から令和6年3月までに振り込まれた分が5年度分の会費とさせていただきます。  
まだ納入されていない方は、郵便局の振込用紙にて納入をお願いします。又、2年間会費未納入状態の方は、自動的に退会扱いになりますのでご注意ください。

郵便振替	01970-7-59102
振込先	全国膠原病友の会 大分県支部
年会費	3600円（支部1800円・本部1800円）

## 賛助会員さん募集

会員以外の方、膠原病にご理解を頂けるお医者さんや看護師さん、知人や友人、ご家族・ご親戚の方など、ご賛同いただける方を募集しています。賛助会員（個人）の会費は1口年1000円です。（何口でも結構です）

賛助会員さんには、年1回発行する「かきつばた」をお送りし、総会等のご案内も致します。

## 変更時のお願い

住所・氏名・住所変更など変更のあった方、ご都合で退会される方は、支部長まで連絡をお願いします。普通会员から賛助会員に変更したいなどの時も、電話で連絡してください。

退会連絡を受けた後は、支部から本部に連絡し退会手続きを行います。

退会の連絡をしたのに、まだ会報が届く・・・等ある方は、お手数ですが再度お知らせください。宜しくお願いします。

多田めぐみ

〒870-0131  
大分市皆春1612-1 ヴェルディ皆春壺番館 602  
TEL 080-6422-5810  
(ショートメール可。必ず名前を入れてください！)



昭和 46 年 6 月 17 日 第 3 種郵便物認可 (毎月 6 回 0 の日・5 の日発行)

令和 5 年 10 月 10 日発行 SSK 通巻第 5969 号

発行人 障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区祖師谷三―一―一七

編集人 一般社団法人 全国膠原病友の会 大分県支部

八七〇―〇―三三一 大分県大分市皆春一六二―一―一

ヴェルディ皆春老番館六〇二 多田 めぐみ

定価 一〇〇円 (会費を含む)